

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	にぎわい交流館いわつき					
(2) 施設概要	①所在地 さいたま市岩槻区本町6丁目1番2号 ②施設の設置目的 岩槻の歴史及び文化の発信、産業及び観光の振興並びに地域のにぎわいの創出に寄与する ③施設の概要 ・令和2年2月22日開設 ・敷地面積 1,244.10㎡・延床面積 820.95㎡ ・構造 地上2階建 ・1階 交流・休憩ルーム、カフェ・ショップ ・2階 多目的室(定員60名)、クラフトルーム ・屋外 屋外共用スペース					
(3) 指定管理者	さいたま市にぎわい交流館いわつき管理・運営共同事業体					
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 令和5年4月1日～ 令和10年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和5年度77,285千円、令和6年度77,285千円、令和7年度77,285千円					
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 189,630人(前年度235,793人) ◇業務実施状況 ・施設の利用に関する業務 ・施設の管理及び運営に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・地域のにぎわいの創出に関する業務 ②維持管理業務の状況 ・総合管理業務(室内衛生的環境の測定、水質検査等) 10回／年 ・総合管理業務(各設備の日常点検等) 常時 ・日常清掃業務 1回／日 ・定期清掃業務(床の洗浄等) 8回／年 ・特別清掃業務(照明器具、窓ガラス・サッシ清掃等) 7回／年 ・エレベーター設備保守点検 7回／年(別途遠隔監視は常時) ・消防設備保守業務(機器点検等) 3回／年 ・空調設備保守業務 4回／年(別途異音の有無の点検は適宜) ・湧水槽清掃業務 2回／年 ・植栽管理業務 適宜 ・機械警備業務 常時 ・廃棄物処理業務 適宜 ③その他の業務 ・カフェ、ショップの運営業務					
(6) 収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	1,395千円	1,256千円	人件費	40,629千円	41,544千円
	指定管理料	77,285千円	77,285千円	事務費	3,326千円	2,668千円
	講座参加費	2,739千円	2,828千円	施設管理費	14,630千円	12,426千円
	運営協力費	1,200千円		事業費	26,615千円	24,731千円
	水道光熱費負担金	2,949千円				
	【自主事業】					
	収入	60,508千円	69,954千円	支出	56,043千円	70,203千円
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・1階交流・休憩ルームに意見投書箱を設置し、利用者アンケートを実施した。 ・講座参加者アンケートも実施しており、講座満足度は、「満足」「やや満足」の合計が98.4%となった。 ・アンケートで要望のあった項目は、都度、講座の運営方法や内容改善等の参考としている。					
(8) その他						

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
デジタルサイネージの活用	地域情報発信機能として、当館および人形博物館の利用案内や企画展の情報、地域団体のイベント情報や岩槻の観光案内情報をタイムリーに発信し産業振興、観光支援等に係る事業のPRを実施した。
地域イベント・団体連携事業	岩槻まつりや鷹狩行列をはじめとする地域の主要なイベントにおいて、各実行委員会と連携を図りながら、施設や備品の貸出しに協力した。これにより、イベントの円滑な運営を支援するとともに地域のにぎわい創出に寄与した。 また、地元商店会連合会と連携し地域のにぎわい創出に係る事業の企画・運営を実施した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

①「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」
・公の施設の指定管理者として、にぎわい交流館いわつきに関する基本協定書及び業務に関する仕様書等に基づき、設置目的をよく理解した上で、電話や受付窓口にて施設や予約に関する説明等を丁寧に行い、安心・安全で快適な施設、地域を訪れる人との交流と賑わいを創出する場となる施設づくりに積極的に取り組みました。
・「利用者の声」、「利用者アンケート」及び日々の活動の中で、積極的に施設利用者の意見等を収集・分析し、常にニーズの把握・改善に努め、利用者からは高評価をいただきました。その結果として大きなトラブル等も無く、施設利用者は189,630人となり、開館から累計1,128,872人と多くの方の来館を記録しました。
・街イベントなどで施設PRとしてパンフレットや講座チラシ、ノベルティを配布し利用促進に努めました。

②「経費の節減について」
・無駄な光熱費をなくす努力を徹底し、日々の巡回を通して、施設、設備の保全に努め、軽微な設備不良は外注先に依頼することなく対処するなど、経費節減に取り組みました。

③「適正な管理運営の確保について」
・JVを設立している関係上、各事業体と定例会を執り行うことで緊密な連携を図り、各業務が円滑に推進できるように努めました。
・職員研修や企画会議により、安全、接遇等のスキルアップや職員の意思統一を徹底し、他の機関とも積極的に連携して施設の価値を高めるよう努めました。
今後も引き続き、適正な施設運営管理を行うとともに、施設の特長・地域の特性や地域ニーズに沿った事業を行い、施設機能の向上に取り組みます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 経済局商工観光部経済政策課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する評価

・地域のにぎわいの創出に寄与する業務や自主事業を積極的に実施するとともに、デジタルサイネージを活用した観光・イベント情報の発信、地域イベントや地元商店会連合会との連携など、施設の設置目的を踏まえた取組を行った。これらの取組により、来館者数は189,630人となり、目標としていた150,000人を上回ったことから、施設の利用促進に一定の成果があったと評価できる。
・質の高い講座を継続実施し、利用者アンケートにおいて満足度(「満足」「やや満足」の合計)が98.4%と非常に高い評価を得ることができたことは、市民サービスの向上に寄与したと評価できる。

②経費の削減に関する評価

・日々の巡回による施設・設備の保全や軽微な不具合への迅速な対応を行うなど、施設管理及び事業運営に必要なサービス水準を維持しつつ、経費節減に向けた効率的な管理運営に努めたものと評価できる。

③適正な管理運営の確保に関する評価

・年度当初に計画した管理保守点検計画に基づき施設管理を行い、また、定期的に職員研修を実施するなど、適切な業務執行体制を整え、適正な管理運営の確保のための取組を行ったと評価できる。

2 総合評価

・来館者数は前年度を下回ったものの、目標来館者数を上回る実績を上げるとともに、講座満足度も高い水準を維持している。また、地域イベントや地元団体との連携、デジタルサイネージを活用した情報発信、適切な維持管理業務の実施など、施設の設置目的に沿った管理運営が行われている。以上のことから、市が求める水準を満たしているものと認め、総合評価をBとした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き魅力的な事業実施や地域イベントと連携しながら、地域のにぎわい創出に寄与していただけるよう努めていただきたい。さらに、人形博物館や地域の飲食店などにも人を呼び込めるよう、岩槻地域全体の活性化の拠点となることを期待する。